

新津地域景況調査結果の概要(平成29年7月～9月期)

平成29年7月～9月期の景気動向(DI値による判断)

【全業種】業況DIは、依然としてマイナス圏内。先行き(10～12月)については、ほぼ横ばいの見通し。

【建設業】売上高・仕入単価・採算・資金繰りDIは悪化。従業員数DIは若干改善するとの見通し。

【製造業】全体的に横ばい。従業員数は若干改善するとの見通し。

【卸売業】全体的に横ばい。仕入単価DIは悪化するとの見通し。

【小売業】採算DIは悪化。従業員数DIは若干改善するとの見通し。

【サービス業】全体的に横ばい。売上高・採算数DIは悪化するとの見通し。

【経営上の問題点】(複数回答可)

多い順に、「需要の停滞」、「大型店進出による競争激化」、「人件費の増加・圧迫」など。

またどの業種ともに、需要の停滞を多くあげる回答が散見された。

【設備投資の状況】(複数回答可)

多い順に、「車両運搬具」、「OA機器」、「倉庫・駐車場等付帯施設」などであるが、全体に低調。

DI値(業況判断指数)について

DI値=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

※実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

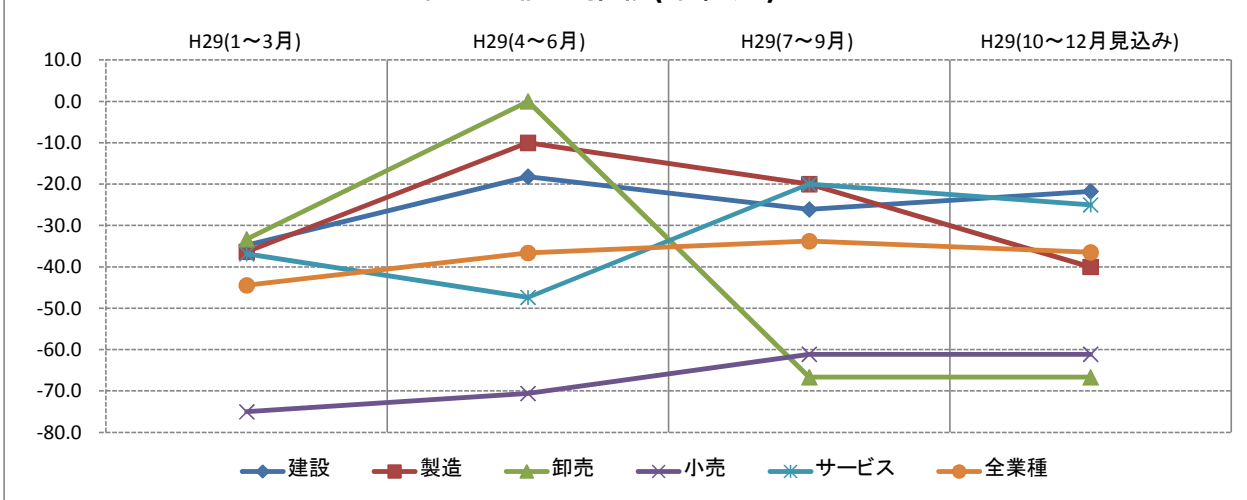
	50 ≧ DI	25 ≦ DI < 50	0 ≦ DI < 25	▲25 ≦ DI < 0	DI < ▲25
DI値	とくに期間	順調	変わらず	悪化	きわめて悪化

▼項目別DI値

※()は見通し10～12月

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
売上高	△ 30.4 (△ 17.4) 	△ 20.0 (△ 40.0) 	0.0 (0.0) 	△ 27.8 (△ 16.7) 	△ 5.0 (△ 15.0) 	△ 20.3 (△ 18.9)
仕入単価	△ 34.8 (△ 17.4) 	△ 20.0 (△ 50.0) 	0.0 (△ 66.7) 	△ 16.7 (△ 22.2) 	△ 20.0 (△ 5.0) 	△ 23.0 (△ 21.6)
採算	△ 43.5 (△ 30.4) 	△ 20.0 (△ 40.0) 	0.0 (0.0) 	△ 50.0 (△ 44.4) 	0.0 (△ 15.0) 	△ 28.4 (△ 29.7)
資金繰り	△ 17.4 (△ 13.0) 	0.0 (△ 10.0) 	0.0 (0.0) 	△ 22.2 (△ 33.3) 	10.0 (0.0) 	△ 8.1 (△ 13.5)
従業員数	△ 8.7 (13.0) 	20.0 (10.0) 	0.0 (0.0) 	△ 5.6 (5.6) 	△ 15.0 (△ 10.0) 	△ 5.4 (4.1)
業況	△ 26.1 (△ 21.7) 	△ 20.0 (△ 40.0) 	△ 66.7 (△ 66.7) 	△ 61.1 (△ 61.1) 	△ 20.0 (△ 25.0) 	△ 33.8 (△ 36.5)

業況DI値の推移(業種別)



この調査は、新津地域の景況動向における企業経営の推移及び動向についての的確に把握すべく、全業種を対象に四半期ごとに実施しております。

調査対象: 100事業所(建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業) 回答数74社(回答率74%)

対象期間: 平成29年7～9月期実績、平成29年10月～12月期の見通しについて

当所では、『消費税転嫁対策相談窓口』を設置し、消費税率の引き上げに伴う円滑・適正な価格転嫁を支援するため、個別相談やセミナーなどを実施しておりますので、どんなことでもお気軽にご相談下さい。